

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長		平成24年 7月24日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）
京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1		株式会社 GSユアサ 取締役社長 依田 誠

京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。	
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001
適 用 範 囲	京都事業所
導 入 年 月 日	1997年 12月 24日
認 証 番 号	EC97J1151
基 本 方 針	GSユアサ グループ環境基本方針に基き、当事業所の事業活動（バッテリーをはじめ、電源システム、照明機器等の開発・製造・販売）、製品及びサービスが環境に与える影響を的確に捉え、技術的に可能な範囲で、当事業所内の全階層において目的・目標、プログラムを設定し環境マネジメントシステム及びパフォーマンスの継続的改善を図り、汚染の予防に取り組む。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	2011年度取り組み目標（抜粋） ①省エネルギー（CO2原単位）～2009年度比2.0%削減 ②上水使用量削減～2009年度比水準に戻す ③下水排出量（原単位）削減～2009年度比1.0%削減 ④産業廃棄物～リサイクル率97.0%以上 ⑤製品開発・販売～次世代74Vリチウム車用電池の開発、PV-EVシステムの開発、LED街路灯の拡販
目標を達成するための取組の内容	①省エネルギー（CO2原単位）～コッパレッタの省エネ型置換え・台数制御運転、試験利用電力の回生、天井照明の省エネ機器化（省エネランプ「エコ7（弊社製）」、LED蛍光灯）、事務所照明の不要時消灯、空調使用抑制 ②上水削減～使用内容詳細調査による個別対応 ③下水（原単位）削減～循環水化の推進、社水の使用抑制 ④産業廃棄物～リサイクル処理ルート（処理会社）の利用。分別による排出抑制。 ⑤製品開発・販売～計画に基づく開発・販売進捗
目標を達成するための取組の進捗状況	①省エネルギー（CO2原単位）～予定通り省エネ設備・機器導入済。 ②上水削減～使用量減少増設中。一部工程の上水を社水に置換え中。 ③下水削減～循環水化の推進中。 ④産業廃棄物～一部単純焼却・埋立廃棄物をリサイクル処理（業者）に置換え検討中。分別による有価物化により、排出抑制が行われている。 ⑤製品開発・販売～開発テーマは計画通り進捗。LED街路灯の拡販は苦戦。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	①省エネルギー、③下水～リチウム事業が拡大し、原単位水準が下がり大幅改善した。また省エネについては夏の節電活動によりさらに改善した。 ②上水～増加に歯止めかららず未達成。 ④廃棄物～分別による排出抑制（含、有価物化）、リサイクル処理ルート（処理会社）の利用が進み、リサイクル率目標を達成した。 ⑤製品開発販売～当初計画どおりに開発できた。販売は未達成。
事業活動に係る法令の遵守の状況	順守すべき法規制や規定などを定期的に見直し、モニタリング活動などを通じて、その順守状況を管理している。 2011年度は、環境汚染に直結する緊急事態が発生しなかった。また、環境関連の訴訟、罰金、過料なども発生していない。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	ISO14001に定めるマネジメントレビューにより、原則として毎年1回評価・見直しを行っている。 平成24年度活動については、前年度の基本路線を踏襲しつつ、水準を上げる内容とした。また製品を通じた環境貢献を重視した目標設定を行った。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。